

2013/09/03

〒101-0047
東京都千代田区内神田 2-15-4
司ビル3F
笠原工業株式会社
合成事業本部
東京営業所
峯岸俊洋様
Fax 03-3256-2560

一般財団法人
日本食品分析センター
〒151-0062
東京都渋谷区元代々木町52番1号
レポートセンター

送付枚数 6枚(送付状含む)

書類送付のご案内

拝啓 毎々格別のご高配に預り厚く御礼申し上げます。
下記のとおり書類をお送りいたしますのでご査収の上、
宜しくお取り計らい下さいますようお願い申し上げます。

敬具

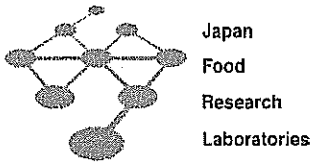
記

受付番号 13072574
送付書類 報告書

お問い合わせ先電話番号:

東京本部 03-3469-7131 大阪支所 06-6386-1851 名古屋支所 052-261-8651
九州支所 092-291-1256 多摩研究所 042-372-6711 千歳研究所 0123-28-5911

以上



第 13072574001-01 号 page 1/5

2013年(平成25年)09月03日

試験報告書

依頼者 笠原工業株式会社



検体 貝殻焼成カルシウム飽和水溶液

表題 マウスを用いる急性経口毒性試験

2013年(平成25年)07月23日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。



マウスを用いる急性経口毒性試験

要 約

貝殻焼成カルシウム飽和水溶液を検体として、マウスを用いる急性経口毒性試験(限度試験)を行った。

試験群には2000 mg/kgの用量の検体を、対照群には溶媒対照として注射用水を雌雄マウスに単回経口投与し、14日間観察を行った。その結果、観察期間中に異常及び死亡例は認められなかった。以上のことから、マウスを用いる単回経口投与において、検体のLD50値は、雌雄ともに2000 mg/kgを超えるものと評価された。

依 頼 者

笠原工業株式会社

検 体

貝殻焼成カルシウム飽和水溶液

試験期間

2013年07月23日～2013年09月03日

試験実施施設

一般財団法人日本食品分析センター 多摩研究所
東京都多摩市永山6丁目11番10号

試験責任者

一般財団法人日本食品分析センター 多摩研究所
安全性試験部 安全性試験課
川本 康晴



1 試験目的

検体について、OECD Guidelines for the Testing of Chemicals 420(2001)に準拠し、マウスにおける急性経口毒性を調べる。

2 検 体

貝殻焼成カルシウム飽和水溶液

3 試験液の調製

検体を注射用水で希釈し、100 mg/mLの試験液を調製した。

4 試験動物

5週齢のICR系雌雄マウスを日本エスエルシー株式会社から購入し、約1週間の予備飼育を行って一般状態に異常のないことを確認した後、試験に使用した。試験動物はポリカーボネート製ケージに各5匹収容し、室温23℃±2℃、照明時間12時間/日に設定した飼育室において飼育した。飼料[マウス、ラット用固型飼料；ラボMRストック、日本農産工業株式会社]及び飲料水(水道水)は自由摂取させた。

5 試験方法

検体投与用量として2000 mg/kgを投与する試験群及び溶媒対照として注射用水を投与する対照群を設定し、各群につき雌雄それぞれ5匹を用いた。

投与前に約4時間試験動物を絶食させた。体重を測定した後、試験群には試験液、対照群には注射用水をそれぞれ20 mL/kgの投与容量で胃ゾンデを用いて強制単回経口投与した。

観察期間は14日間とし、投与日は頻回、翌日から1日1回の観察を行った。投与後7及び14日に体重を測定し、t-検定により有意水準5%で群間の比較を行った。観察期間終了時に動物すべてを剖検した。



6 試験結果

1) 死亡例

雌雄ともにいずれの投与群においても、観察期間中に死亡例は認められなかった。

2) 一般状態

雌雄ともにいずれの投与群においても、観察期間中に異常は見られなかった。

3) 体重変化(表-1及び2)

投与後7及び14日の体重測定において、雌雄ともに試験群は対照群と比べ体重値に差は見られなかった。

4) 剖検所見

観察期間終了時の剖検では、雌雄ともにすべての試験動物に異常は見られなかった。

7 結 論

検体について、マウスを用いる急性経口毒性試験(限度試験)を実施した。

その結果、観察期間中に異常及び死亡例は認められなかった。以上のことから、マウスを用いる単回経口投与において、検体のLD50値は、雌雄ともに2000 mg/kgを超えるものと評価された。



表-1 体重変化(雄)

投与群	投与前	投与後(日)	
		7	14
試験群	33.5±2.5 (5)	37.1±2.7 (5)	40.1±3.7 (5)
対照群	33.3±1.7 (5)	37.9±2.1 (5)	40.9±2.5 (5)

体重は平均値±標準偏差で表した(単位:g)。

括弧内に動物数を示した。

表-2 体重変化(雌)

投与群	投与前	投与後(日)	
		7	14
試験群	27.7±1.6 (5)	30.1±2.1 (5)	32.7±3.1 (5)
対照群	27.8±1.4 (5)	30.0±1.4 (5)	32.7±1.5 (5)

体重は平均値±標準偏差で表した(単位:g)。

括弧内に動物数を示した。

以 上